

首都大学東京平成23年度FDセミナー講演 2011.10.6 (木)

知にこだわった 大学のアクティブラーニング型授業

溝上 慎一

(京都大学高等教育研究開発推進センター／教育学研究科)

<http://smizok.net/>

E-mail smizok@hedu.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

今日の話

- ①「教える」から「学ぶ」へ
- ②アクティブラーニングとは
- ③知識を基盤としたアクティブラーニングを目指して
- ④アクティブラーニング型授業づくり(ディスカッション形式)のポイント

今日の話

- ①「教える」から「学ぶ」へ
- ②アクティブラーニングとは
- ③知識を基盤としたアクティブラーニングを目指して
- ④アクティブラーニング型授業づくり(ディスカッション形式)のポイント

「教える」から「学ぶ」へ

From Teaching to Learning

- 近年の大学教育改革における世界的な流れの一つに、「教える (teaching) から学ぶ (learning) へ」をスローガンにした授業・カリキュラム改革がある。
(*cf.* Barr & Tagg, 1995)
- 教員は何を教えるかではなくて、学生が何を学んだのかを指標として、FDや教育改善をおこなう。

<p>1. 知識・理解</p>	<p>専攻する特定の学問分野における基本的な知識を体系的に理解するとともに、その知識体系の意味と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解する。</p> <p>(1)多文化・異文化に関する知識の理解 (2)人類の文化、社会と自然に関する知識の理解</p>
<p>2. 汎用的技能</p>	<p>知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能</p> <p>(1)コミュニケーション・スキル（日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる） (2)数量的スキル（自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析し、理解し、表現することができる） (3)情報リテラシー（情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる） (4)論理的思考力（情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる） (5)問題解決力（問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる）</p>
<p>3. 態度・志向性</p>	<p>(1)自己管理能力（自らを律して行動できる） (2)チームワーク、リーダーシップ（他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる） (3)倫理観（自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる） (4)市民としての社会的責任（社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる） (5)生涯学習力（卒業後も自律・自立して学習できる）</p>
<p>4. 統合的な学習経験と創造的思考力</p>	<p>これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力</p>

知識習得の場としての大学



知識習得の場
+
知識活用能力(基礎力)養成の場

アクティブ
ラーニング
(AL:Active
Learning)

今日の話

- ①「教える」から「学ぶ」へ
- ②アクティブラーニングとは
- ③知識を基盤としたアクティブラーニングを目指して
- ④アクティブラーニング型授業づくり(ディスカッション形式)のポイント

アクティブラーニング(AL)とは

- ❏ 「アクティブラーニングを取り入れた授業」のように、授業者からの一方向的な知識伝達型授業(学習者の受動的な学習)ではなく、学習者の能動的な学習を取り込んだ授業形態(教授法・授業デザインなど)を特徴づける包括的用語
- ❏ 高次の認知活動(理解・記憶・再生・論理的/批判的/創造的思考・推論・判断・意志決定・問題解決など)からアウトプットにつながる過程のあらゆる活動
 - e.g. 現象やデータを解釈・情報検索/収集
 - 議論・討論 問題発見・問題解決
 - 分析・評価 成果レポート/発表

さまざまなAL型の授業

□ 学生参加型授業

e.g. コメント・質問を書かせる/フィードバック、理解度を確認(クリッカー、授業最後/最初に小テスト/ミニレポート)

□ 各種の共同学習を取れ入れた授業

e.g. 協調学習/協同学習

□ 各種の学習形態を取り入れた授業

e.g. 課題解決学習/課題探求学習/問題解決学習/
問題発見学習

□ PBLを取り入れた授業

e.g. Problem-Based Learning / Project-Based Learning

AL型授業の質を高める装置(授業)

- ❏ 書く・話すというアウトプットの活動(コメント用紙、レポート、ディスカッション、討論、プレゼンテーションなど)
- ❏ さまざまな他者(学生同士、教員、専門家・地域住民など外部者など)の視点を取り入れ、自己の理解を相対化させる
- ❏ 宿題・課題を課す(授業外学習)
- ❏ 新たな知識・情報・体験へアクセスさせる(調べ学習、体験学習)
- ❏ リフレクション(形成的・総括的評価)
- ❏ 多重評価(小テスト、発表、質問、プレゼンテーション、学生同士のピア評価など)

今日の話

- ①「教える」から「学ぶ」へ
- ②アクティブラーニングとは
- ③知識を基盤としたアクティブラーニングを目指して
- ④アクティブラーニング型授業づくり(ディスカッション形式)のポイント

北米の講義＋演習の授業システム

表 3セメスター単位の例

月	水	木
講義1h	講義1h	演習1h

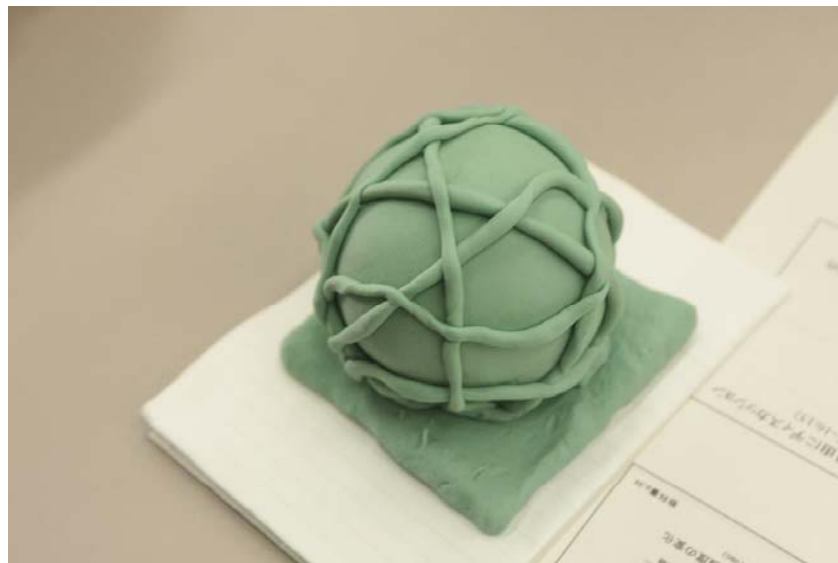
私の授業では...



大講義では (100人以上)

- ❑ 教科書の予習・復習(とくにディスカッション前、最終レポート前)を前提とする
- ❑ 最後の30分は毎回ミニレポート
- ❑ 2回はディスカッションを入れる
- ❑ 「もっと学習したい人のために」(文献)を用意する。

授業「自己形成の心理学」で粘土による自己表現の作業



3 「捕らわれの自己」



「私の中にいるピラニア」

小規模の 講義では (30-50人)



- 10分(質問への回答)
- 50分(講義)
- 30分(ディスカッション)
- 宿題:ミニレポート(講義内容とディスカッションのまとめ)を次週に毎回提出

今日の話

- ①「教える」から「学ぶ」へ
- ②アクティブラーニングとは
- ③知識を基盤としたアクティブラーニングを目指して
- ④アクティブラーニング型授業づくり(ディスカッション形式)のポイント

Point 1

教室の雰囲気作りをおこなっている



DVD 4.5min.

Point 2

学生の気分作り

☐ ウォーミングアップ(1分/人)

問 今日のお昼は何食べた？

他の問い

- ・今朝起きたときの気分は？
- ・何のお菓子が好き？

Point 3

ディスカッションの形式

基本姿勢

- ・聞き手は話し手の顔を見る
- ・適度にうなづく
- ・できるだけスマイル

何よりも重要なのは、
ディスカッションが盛り上
がるように、貢献すると
いう気持ち！

学生3人グループ (いつもの固定メンバーで)

グループリーダー(司会・進行) を決めている

学生グループの
作り方にコンセ
プトを持っている

ALに向かない教室で お互いの顔を見ないでディスカッション



Point 4

ALの課題が具体的である



ディスカッション&ミニレポート

- ①講義内容に関する疑問点についてメンバー同士で解決しなさい。
- ②青年期の意義を同一化とアイデンティティ(同一性)の用語を用いて説明しなさい。
- ③自身の経験をもとに、同一化とアイデンティティ(同一性)との関係について自由に論じよ

知識をもとに進める部分(②)と学生の経験をもとに進める部分(③)とを分別している

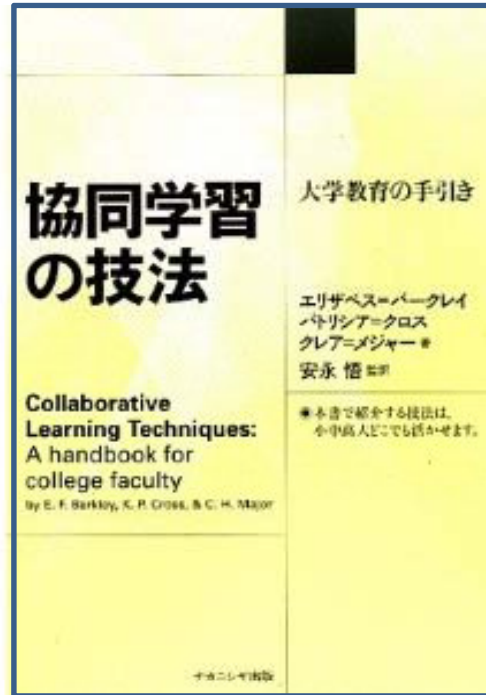
全員がAIに参加するような工夫をしている

Point 5

対象となる学生をよく知る

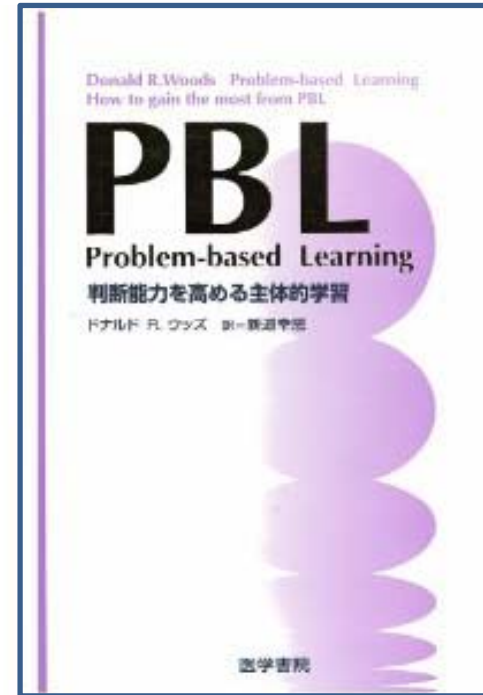
- ❏ 学力、パーソナリティ、過去の経験など
- ❏ 学生の学習プロセス・結果を徹底的に予測する
(所要時間、思考の展開、結果など)

アクティブラーニング型授業に関するお薦めの本



バークレイ, E. F.・クロス, K. P.・メ
ジャー, C. H. (2009). 協同学習の技
法—大学教育の手引き— (安永悟
監訳). ナカニシヤ出版.

**A Handbook for College Faculty
シリーズ**



ウッズ, D. R. (2001). PBL
(Problem-based Learning)—判
断能力を高める主体的学習—
(新道幸恵訳). 医学書院.

まとめ

①「教える」から「学ぶ」へ

知識習得の場／知識活用能力(基礎力)養成の場

②アクティブラーニングとは

定義／さまざまなアクティブラーニング型授業／質を高める装置

③知識を基盤としたアクティブラーニングを目指して

北米の講義＋演習の授業システム／溝上の授業実践例

④アクティブラーニング型授業づくり(ディスカッション形式)のポイント

教室の雰囲気作り／学生の気分作り／ALの課題が具体的である
学生をよく知ること(学生を方向づける授業デザイン)

参考文献

- 溝上慎一 (2006). 大学生の学び・入門ー大学での勉強は役に立つ！ー. 有斐閣アルマ.

